公益財団法人東京都島しょ振興公社
令和元年度第１回理事会議事録

１　開催日時　　令和元年５月３０日（木曜日）１４時３０分～１５時３０分

２　開催場所　　東京都港区海岸一丁目４番１５号
島嶼会館２階会議室

３　出 席 者　　理事総数　６名
出席理事　６名

理事長	青沼　邦和	理事	前田　福夫
理事	前田　弘	理事	山下　奉也
理事	石橋　浩一	理事	松本　明子

監事総数　３名
出席監事　２名

監事	森下　一男	監事	前田　邦弘

４　議　　長　　理事長（代表理事）　青沼　邦和

５　決議事項
議案第１号　平成３０年度事業報告の承認について
議案第２号　平成３０年度決算の承認について
議案第３号　第５次中期実施計画の改訂及び計画に基づく「事業の見直し・検証」に係る取組について

６　議事の経過の要領及びその結果
理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、理事６名の過半数が出席しており、定款第３６条の規定に基づき、理事会の議案に対する決議は成立する旨を告げ、次の議案の審議に入った。

（１）議案第１号　平成３０年度事業報告の承認について
議長は、議案第１号を上程し、配付資料により事務局長の説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、原案どおり満場一致で可決された。

（２）議案第２号　平成３０年度決算の承認について
議長は、議案第２号を上程し、配付資料により企画管理課長の説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、原案どおり満場一致で可決された。

（３）議案第３号　第５次中期実施計画の改訂及び計画に基づく「事業の見直し・検証」に係る取組について

議長は、議案第３号を上程し、配付資料により企画管理課長の説明がなされた後、議長は、これを諮った。

以上の説明に関連して、次の質疑応答があった。

（前田弘理事）交通関連事業の中で、平成30年度の実績報告があったが、ヘリ・コミューターの予約が取れないと話で聞くが、その割に、搭乗率は60%に満たないが。

（荒井企画管理課長）船便とヘリの両方を予約し、船便が就航するとヘリをキャンセルするため、搭乗率が低くなる。令和元年６月１日からキャンセル料金の見直しを図り、今後はヘリを保険として予約する利用客が減少すると見込まれる。

（前田弘理事）以前は別の交通手段と両方押さえており、愛らんどシャトルを利用しない利用客がいたことにより、搭乗率が下回っていたということか。

（石田事務局長）平成30年12月に利用者アンケートを実施し、その際にも保険として愛らんどシャトルを予約されている方が多いということが分かった。対策として令和元年度６月１日からキャンセル料金を見直すため、今後搭乗率上昇の余地がまだあると考えている。

審議の結果、原案どおり満場一致で可決された。

７　報告事項

（１）財産運用規程及び財産運用基準の改正について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされた。

（２）公益財団法人東京都島しょ振興公社における内部統制等に係る自己点検結果について

企画管理課長より、標記案件について説明がなされた。

（３）令和元年度第１回公社運営検討委員会の開催結果について

企画管理課長より、標記開催結果について説明がなされ、次の質疑応答があった。

（森下理事）先ほどのRPIの報告を受けて今後どういかしていくのか伺いたい。また、東京愛らんどの店舗運営をしている業者と連携し上手くやり取りをしていただきたい。

（石田事務局長）現在、調査報告書を受領して分析をしている段階であり、調査報告書を踏まえて、今後は各町村とのやり取りをさせていただきご意見を伺いたい。また、取り纏めた結果を秋以降に向けて会議等で報告をさせていただき、公社の方向性について決定をしていきたい。

（森下理事）島の場合には特性・特徴があり歴史的なものも数多くある。報告の中で新商品とあったが、必ずしも新商品に固執することはないのではないか。島それぞれの独自性があり、それが付加価値となるものもある。そのあたりも踏まえて検討をしていただきたい。

（石田事務局長）いただいたご意見を基に、既存の各島ごとの特性・特徴や歴史文化と